

2015年度 決算概要

-
- I. 2015年度 連結業績概要
 - II. セグメント別情報
 - III. 鴻海精密工業グループとの戦略的提携について
 - IV. 補足資料
-

シャープ株式会社

2016年5月12日

【見通しに関する注意事項】

本資料に記載されている内容には、シャープ株式会社及び連結子会社（以下、総称して「シャープ」という）の計画、戦略、業績など将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は過去または現在の事実ではなく、現時点で入手可能な情報から得られたシャープの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、シャープの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、シャープが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えうるリスク、不確実性及びその他の要因としては、以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- (1) シャープの事業領域を取り巻く経済情勢
- (2) シャープの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化
- (3) 為替相場の変動(特に、米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替相場)
- (4) 諸外国における貿易規制等の各種規制
- (5) 他社との提携、アライアンスの推進状況
- (6) シャープに対する訴訟その他法的手続き
- (7) 製品やサービスについての急速な技術革新 など

※本資料の記載金額は、億円未満切り捨て表示としています。

I . 2015年度 連結業績概要

SHARP

1

- ・ 本日はご多忙な中、お集まり頂きありがとうございます。
また日頃は、当社の広報(IR)活動にご協力頂き、まことにありがとうございます。
- ・ それでは、お手許にお配りしておりますパワーポイント資料に沿って、説明いたします。

2015年度 連結業績概要

・2015年度の売上高は前年度比11.7%減の2兆4,615億円

(単位:十億円)

	2014年度	2015年度					前年比
	通期	上期	3Q	4Q	下期	通期	
売上高	2,786.2	1,279.6	663.3	518.5	1,181.9	2,461.5	-11.7%
営業利益 (利益率)	-48.0 (-1.7%)	-25.1 (-2.0%)	-3.8 (-0.6%)	-132.9 (-25.6%)	-136.8 (-11.6%)	-161.9 (-6.6%)	-
経常利益 (利益率)	-96.5 (-3.5%)	-38.6 (-3.0%)	-14.1 (-2.1%)	-139.6 (-26.9%)	-153.8 (-13.0%)	-192.4 (-7.8%)	-
親会社株主に帰属 する当期純利益 (利益率)	-222.3 (-8.0%)	-83.6 (-6.5%)	-24.7 (-3.7%)	-147.6 (-28.5%)	-172.3 (-14.6%)	-255.9 (-10.4%)	-

SHARP

2

- ・まず、2015年度の連結業績概要です。
売上高、営業利益は、ほぼ3月30日の修正リリースの通りとなっています。
- ・売上高は前年度比 11.7%減の2兆4,615億円、
営業利益は▲1,619億円、
経常利益は▲1,924億円、
親会社株主に帰属する当期純利益は▲2,559億円となりました。
- ・2期連続の赤字を計上することとなりましたが、鴻海グループとの戦略的提携により、
強固な取引関係の確立と財務基盤の強化を図り、事業の安定的な継続に努めます。
- ・なお、2016年度の業績予想につきましては、現時点で鴻海グループとの
戦略的提携に伴うシナジー効果など具体的な算定が困難なことから、
出資完了後に公表いたします。

営業外損益・特別損益・法人税等の概要

(単位:十億円)

	2014年度	2015年度					
	通期	上期	3Q	4Q	下期	通期	前年 増減額
営業利益	-48.0	-25.1	-3.8	-132.9	-136.8	-161.9	-113.9
営業外損益	-48.4	-13.4	-10.2	-6.7	-16.9	-30.4	+17.9
内:支払利息	-23.1	-9.9	-4.5	-4.1	-8.7	-18.7	+4.4
持分法による投資利益	+5.5	+3.0	-0.1	-1.3	-1.5	+1.4	-4.0
経常利益	-96.5	-38.6	-14.1	-139.6	-153.8	-192.4	-95.9
特別損益	-92.3	-36.5	-4.0	+1.9	-2.0	-38.6	+53.6
内:固定資産売却益	+11.1	+0.3	+0.4	+15.1	+15.6	+15.9	+4.8
投資有価証券売却益	+22.9	+1.8	-0.0	+0.1	+0.1	+1.9	-21.0
訴訟損失引当金戻入額	+19.2	+2.0	-	-	-	+2.0	-17.1
受取和解金	-	+7.1	+1.3	-0.0	+1.3	+8.4	+8.4
減損損失	-104.0	-11.1	-2.7	-10.8	-13.6	-24.7	+79.2
事業構造改革費用	-21.2	-35.3	-1.4	-1.4	-2.8	-38.1	-16.9
解決金	-14.3	-	-	-	-	-	+14.3
税前利益	-188.8	-75.2	-18.1	-137.7	-155.8	-231.1	-42.2
法人税等 他	-33.5	-8.3	-6.5	-9.9	-16.4	-24.8	+8.6
親会社株主に帰属 する当期純利益	-222.3	-83.6	-24.7	-147.6	-172.3	-255.9	-33.6

SHARP

3

- ・ 次のスライドは、主な「営業外損益」・「特別損益」・「法人税等」の概要です。
- ・ 2015年度は、「支払利息」の減少等もあり、「営業外損益」が改善しました。
- ・ また、「構造改革費用」や「減損損失」を「特別損失」に計上しました。

第3四半期 決算発表時の通期予想と実績の差異

(単位:十億円)

	2015年度	2015年度					
	予想 (2/4)	実績	予想差	(内)4Qの体質改善処理・ 構造改革費用	実績 (体質改善処理・ 構造改革費用 計上前)	予想差	
売上高	2,700.0	2,461.5	-238.4			2,461.5	-238.4
営業利益 (利益率)	10.0 (0.4%)	-161.9 (-6.6%)	-171.9	・CE販売対策費用等 ・ポリシリコン長期契約 単価差引当 ・たな卸資産 評価見積りの変更 ・その他 たな卸資産評価減等	-35.8 -7.7 -47.0 -30.5	-40.7	-50.7

SHARP

4

- ・ 次のスライドは、「第3四半期 決算発表時の通期予想と実績の差異」を示したものです。
- ・ ご覧いただけますように、営業利益における前回決算発表時の通期予想と実績との差異の多くは、体質改善費用・構造改革費用の計上によるものです。

セグメント別売上高

(単位:十億円)

	2014年度	2015年度							2015年度
	通期	上期	3Q	4Q	下期	通期	(2/4) 予想差	前年比	(2/4) 通期予想
コンシューマー エレクトロニクス	982.7	435.5	204.2	170.8	375.1	810.7	-59.2	-17.5%	870.0
エネルギー ソリューション	270.8	78.7	34.5	43.5	78.1	156.8	-13.1	-42.1%	170.0
ビジネス ソリューション	343.3	172.3	88.8	93.9	182.8	355.1	-4.8	+3.5%	360.0
電子デバイス	466.6	251.2	146.4	92.3	238.7	490.0	-39.9	+5.0%	530.0
ディスプレイ デバイス	907.1	391.2	226.2	154.1	380.3	771.5	-98.4	-14.9%	870.0
小計	2,970.7	1,329.0	700.3	554.9	1,255.2	2,584.3	-215.6	-13.0%	2,800.0
調整額	-184.5	-49.3	-36.9	-36.3	-73.3	-122.7	-	-	-100.0
合計	2,786.2	1,279.6	663.3	518.5	1,181.9	2,461.5	-	-11.7%	2,700.0

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

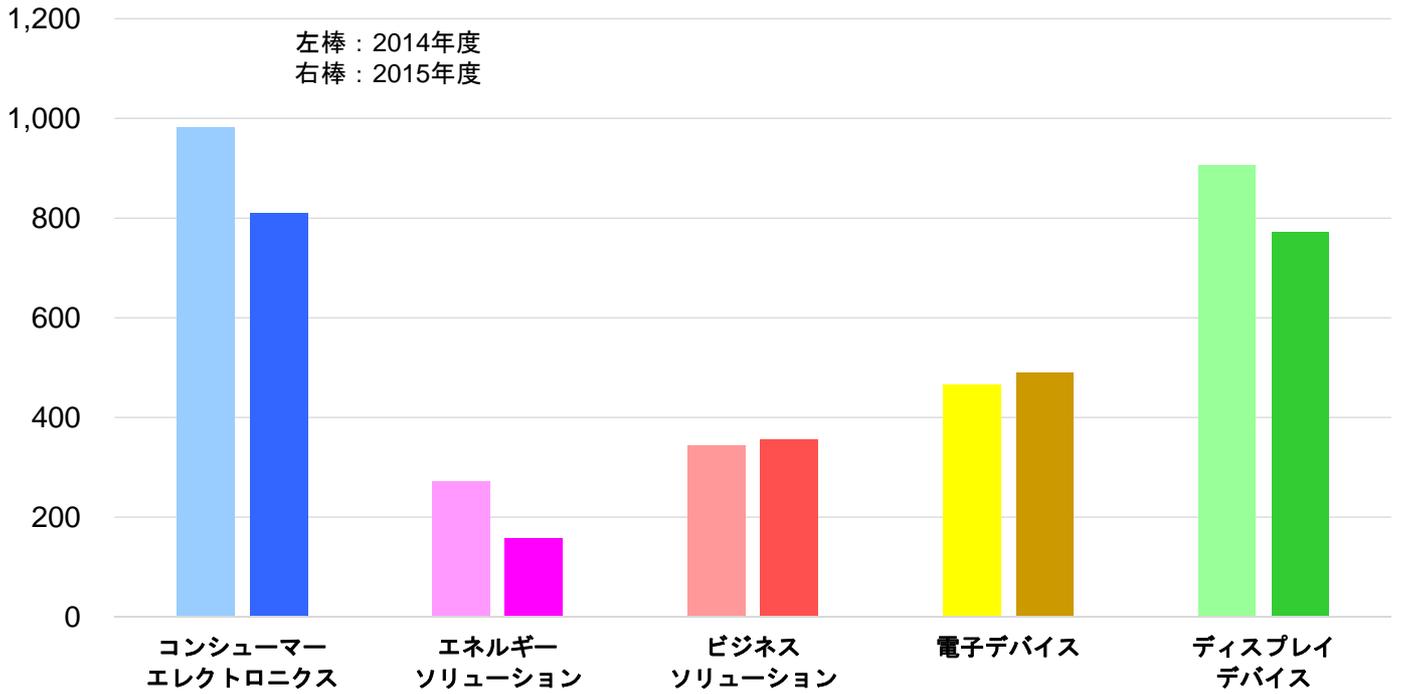
SHARP

5

- ・ 次のスライドは、セグメント別売上高の一覧です。

セグメント別売上高

(単位:十億円)



※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

SHARP

セグメント別営業利益

(単位:十億円)

	2014年度	2015年度							2015年度
	通期	上期	3Q	4Q	下期	通期	(2/4)予想差	前年比	(2/4)通期予想
コンシューマー エレクトロニクス	19.0 (1.9%)	-1.9 (-0.5%)	7.5 (3.7%)	-27.4 (-16.0%)	-19.8 (-5.3%)	-21.8 (-2.7%)	-41.8	-	20.0 (2.3%)
エネルギー ソリューション	-62.6 (-23.1%)	-2.6 (-3.4%)	-5.0 (-14.7%)	-10.7 (-24.6%)	-15.7 (-20.2%)	-18.4 (-11.7%)	-11.4	-	-7.0 (-4.1%)
ビジネス ソリューション	31.3 (9.1%)	16.7 (9.7%)	7.1 (8.0%)	11.9 (12.7%)	19.0 (10.4%)	35.8 (10.1%)	-2.1	+14.4%	38.0 (10.6%)
電子デバイス	0.6 (0.1%)	8.0 (3.2%)	1.9 (1.4%)	-8.5 (-9.2%)	-6.5 (-2.7%)	1.4 (0.3%)	-16.5	2.2倍	18.0 (3.4%)
ディスプレイ デバイス	0.5 (0.1%)	-26.4 (-6.8%)	-10.7 (-4.7%)	-91.9 (-59.6%)	-102.6 (-27.0%)	-129.1 (-16.7%)	-99.1	-	-30.0 (-3.4%)
小計	-11.0 (-0.4%)	-6.3 (-0.5%)	0.8 (0.1%)	-126.6 (-22.8%)	-125.7 (-10.0%)	-132.1 (-5.1%)	-171.1	-	39.0 (1.4%)
調整額	-37.0	-18.8	-4.7	-6.2	-11.0	-29.8	-	-	-29.0
合計	-48.0 (-1.7%)	-25.1 (-2.0%)	-3.8 (-0.6%)	-132.9 (-25.6%)	-136.8 (-11.6%)	-161.9 (-6.6%)	-	-	10.0 (0.4%)

SHARP

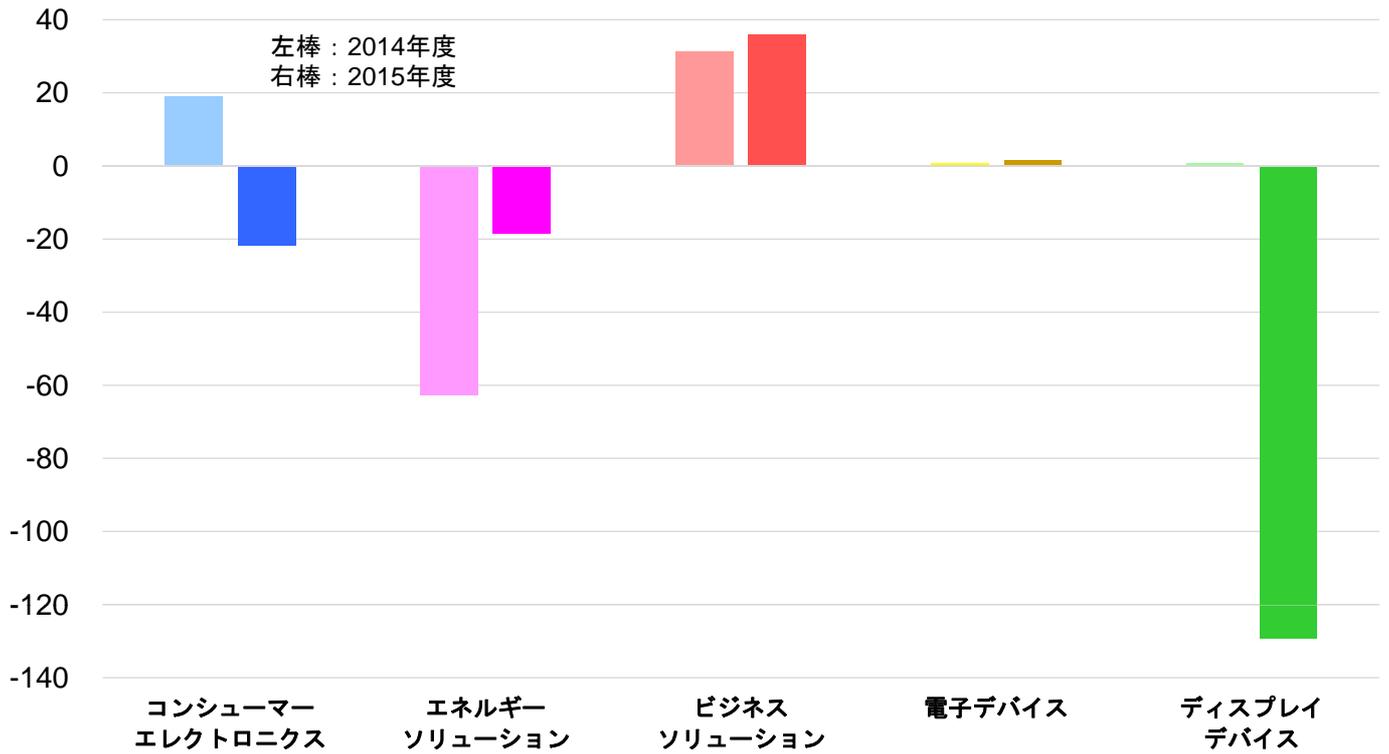
※()内の数字は営業利益率です。

7

- ・ 続いては、セグメント別営業利益の一覧になります。
- ・ 各セグメントの売上高・営業利益の詳細については、後ほど説明いたします。

セグメント別営業利益

(単位:十億円)



連結貸借対照表推移

- ・現預金は、2015年12月末の2,345億円から2,753億円に増加
- ・自己資本比率は、2015年12月末の8.6%から-2.7%に

(単位:十億円)

	2014年度		2015年度			2014年度		2015年度		
	3月末	12月末	3月末	12月末		3月末	12月末	3月末		
現預金	258.4	234.5	275.3		支払手形・買掛金	423.8	362.9	278.6		
受取手形・売掛金	414.0	306.2	287.2		短期借入金	840.0	637.4	612.5		
たな卸資産	338.3	299.0	184.3		1年内社債	0.0	20.6	20.0		
その他	288.3	260.9	218.9		その他	423.0	358.6	463.5		
流動資産計	1,299.1	1,100.8	965.9		流動負債計	1,686.9	1,379.6	1,374.8		
有形固定資産	400.5	368.4	351.2		社債	60.0	40.0	40.0		
無形固定資産	42.4	41.7	41.6		長期借入金	53.4	40.2	40.2		鴻海との戦略的提携に伴う 純資産想定増加額
投資その他資産	219.5	220.1	211.8		その他	116.9	111.1	146.7		・普通株 288.8
固定資産計	662.6	630.3	604.6		固定負債計	230.4	191.4	227.0		・C種種類株 99.9
繰延資産	0.0	0.0	0.0		純資産	44.5	160.2	-31.2	+	純資産増加額 388.8
資産合計	1,961.9	1,731.3	1,570.6		負債純資産合計	1,961.9	1,731.3	1,570.6		
					自己資本比率	1.5%	8.6%	-2.7%		

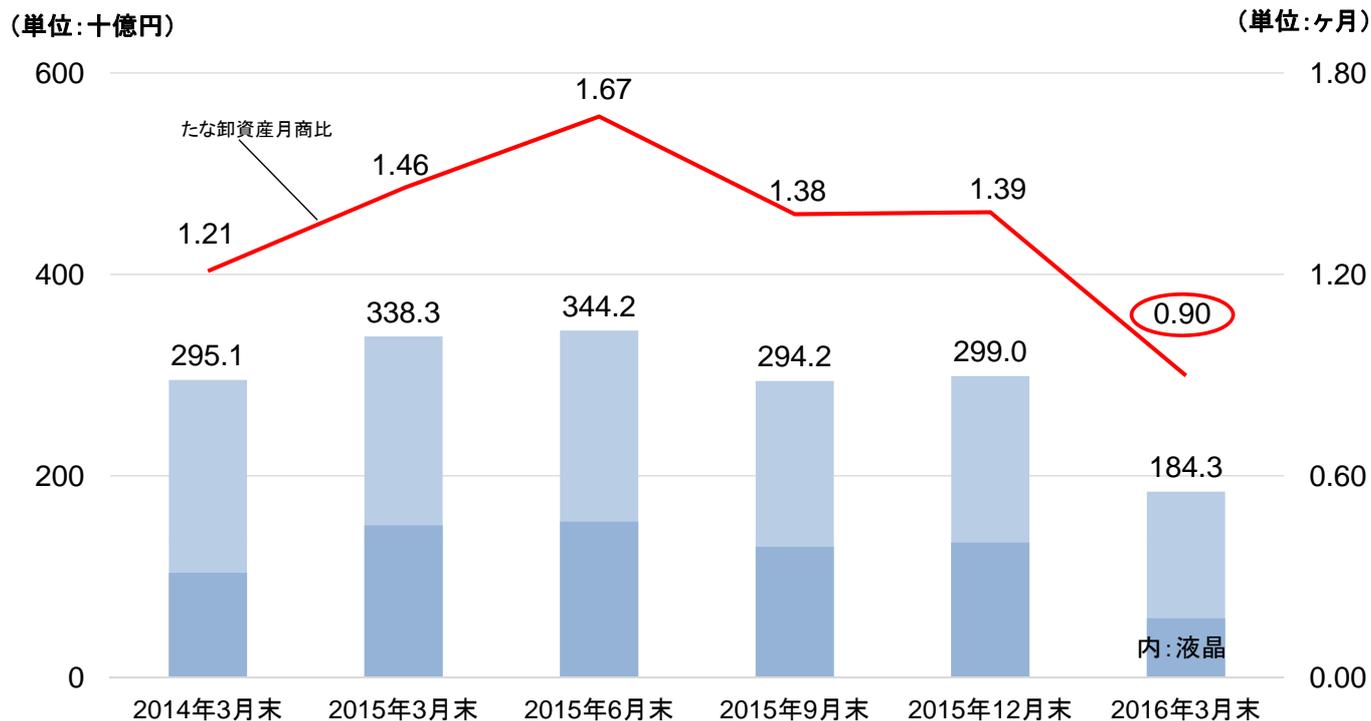
SHARP

9

- ・ 次のスライドは、貸借対照表の推移です。
- ・ 体質改善処理や構造改革にかかる費用の計上等もあり、2015年度末の「純資産」は、第3四半期末に比べ1,914億円減少し、▲312億円となりました。「自己資本比率」についても、第3四半期末の8.6%に対し、▲2.7%となっております。
- ・ 2015年度末は、金利・為替相場の変動により「退職給付に係る調整累計額」「為替換算調整勘定」が減少し債務超過となりましたが、鴻海グループとの戦略的提携により、成長投資資金を含む出資が見込まれるだけでなく、強固な取引関係の確立も図れることから、事業の安定的な継続に努めていきます。

たな卸資産の推移

- ・たな卸資産は1,843億円で、2015年12月末比1,147億円減少、
月商比も1.39ヶ月から0.90ヶ月に低下



SHARP

10

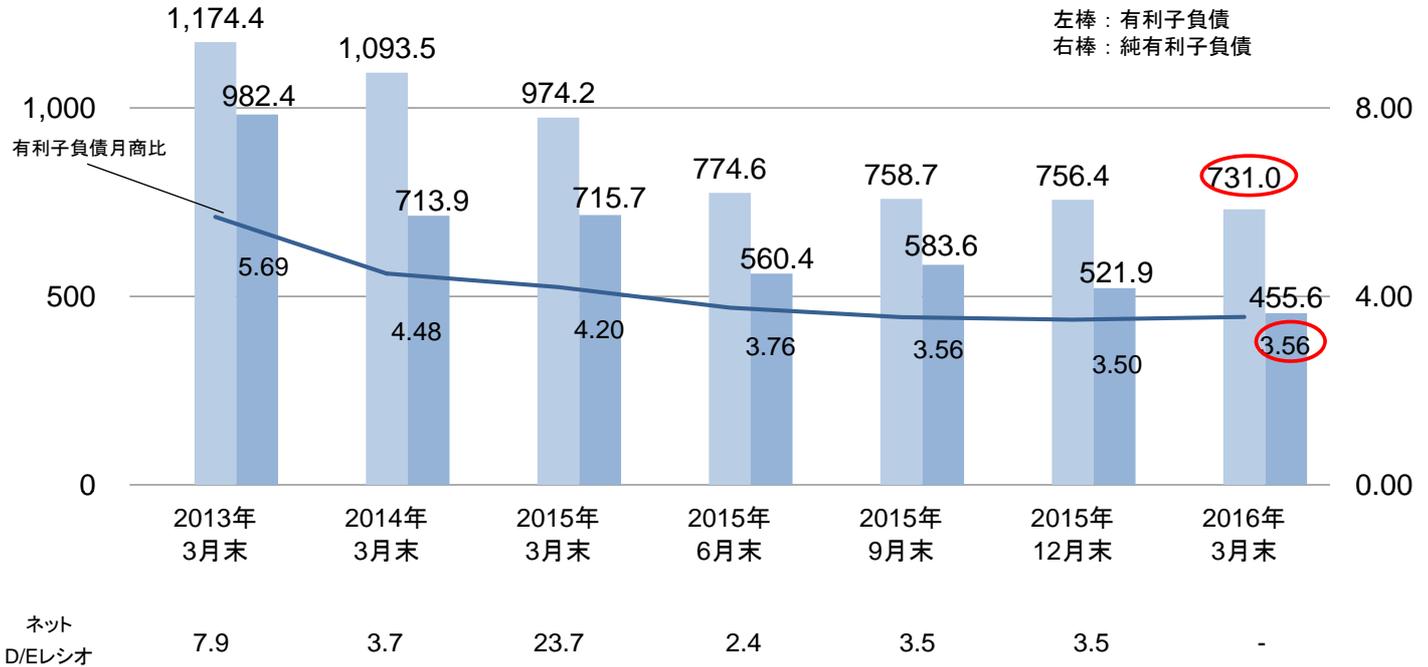
- ・ 次のスライドは、「たな卸資産」の推移です。
- ・ 2015年度末の「たな卸資産」は、第3四半期末から1,147億円減の1,843億円となりました。
月商比についても、0.49ヶ月低下し、0.90ヶ月となっています。

有利子負債の推移

- ・2016年3月末の有利子負債は、2015年12月末に対し254億円減少、
月商比は3.50ヶ月から3.56ヶ月に増加
- ・純有利子負債※は、2015年12月末の5,219億円から4,556億円に減少

(単位:十億円)

(単位:ヶ月)



※純有利子負債：有利子負債 - 現預金

SHARP

11

- ・ 次のスライドは、有利子負債の推移です。
- ・ 2015年度末の有利子負債は、第3四半期末から254億円減少し、
7,310億円となりました。
純有利子負債についても663億円減少し、4,556億円となりました。
- ・ 引き続き在庫の適正化を進めるとともに、効率的な設備投資の実施に努め、
キャッシュフローの改善を図ります。

Ⅱ. セグメント別情報

- ・ 続いてセグメント別情報についてご説明します。

コンシューマーエレクトロニクス

(単位:十億円)

	2015年度					
	上期	3Q	4Q	下期	通期	前年比
売上高	435.5	204.2	170.8	375.1	810.7	-17.5%
営業利益	-1.9	7.5	-27.4	-19.8	-21.8	-
(利益率)	(-0.5%)	(3.7%)	(-16.0%)	(-5.3%)	(-2.7%)	

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

2015年度 実績 (前年比)	2015年度 実績 (2/4予想差)
<ul style="list-style-type: none"> 売上高：17.5%の減収 営業利益：409億円の減益 	<ul style="list-style-type: none"> 売上高：-592億円 営業利益：-418億円

取り組み
／成果

- AIoT機能を搭載したコミュニケーションロボット、液晶テレビ、調理家電等の新規商品創出と販売拡大(「RoBoHoN」「AQUOSココロビジョンプレーヤー」等)
- 白物家電を中心とした新興国向けローカルフィット商品のラインナップ強化・拡充(「蚊取空清」等)

SHARP

13

- ・ まず、コンシューマーエレクトロニクスです。
- ・ 売上高は、国内の4Kテレビや、11月に発売した「ヘルシオ ホットクック」などヘルシオシリーズの販売が好調に推移したものの、欧州・米州の液晶テレビ事業がブランドライセンスビジネスに移行したこと、中国で液晶テレビや白物家電の販売が不振だったこともあり、前年度比17.5%減の8,107億円となりました。営業利益は、体質改善処理のため、液晶テレビの販売対策費用を計上したことなどから、赤字となりました。
- ・ 現在、「RoBoHoN」「AQUOSココロビジョンプレーヤー」などAIoT機能を搭載した商品や、「蚊取空清」のような白物家電を中心とした新興国向けローカルフィット商品を続々と生み出しつつあります。引き続き、クラウドサービスも活用した、付加価値と利便性の高い「人と家電の新たなつながり」を提案してまいります。

エネルギーソリューション

(単位:十億円)

	2015年度					
	上期	3Q	4Q	下期	通期	前年比
売上高	78.7	34.5	43.5	78.1	156.8	-42.1%
営業利益	-2.6	-5.0	-10.7	-15.7	-18.4	-
(利益率)	(-3.4%)	(-14.7%)	(-24.6%)	(-20.2%)	(-11.7%)	

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

2015年度 実績 (前年比)	2015年度 実績 (2/4予想差)
<ul style="list-style-type: none"> 売上高：42.1%の減収 営業利益：442億円の増益 	<ul style="list-style-type: none"> 売上高：-131億円 営業利益：-114億円

取り組み
／成果

- ・ ソーラーエネルギーと蓄電池をベースに、HEMSや省エネ家電等の製品をクラウドと連携させたサービスの提案強化
- ・ EPCや福島復興地域を中心としたIPPの積極的な事業展開
- ・ 海外の地域ニーズに応じたソリューション事業の推進

SHARP

14

- ・ 次はエネルギーソリューションです。
- ・ 国内における住宅用、産業用需要の減少などにより、売上高は、前年度比42.1%減の1,568億円となりました。
- ・ 営業利益は、販売減に加え、第4四半期に、体質改善処理として77億円のポリシリコン単価差追加引当を行ったこともあり、赤字となりました。
- ・ 現在、住宅用クラウド蓄電池システムの新製品を発表するなど、ソーラーエネルギーと蓄電池をベースに、HEMSや省エネ家電等の製品をクラウドと連携させたサービスの提案を強化しています。また、EPCや福島復興地域を中心としたIPPの事業、海外のソリューション事業も積極展開しています。今後も、各地域のニーズに合わせたソリューション事業への転換に取り組んでまいります。

ビジネスソリューション

(単位:十億円)

	2015年度					
	上期	3Q	4Q	下期	通期	前年比
売上高	172.3	88.8	93.9	182.8	355.1	+3.5%
営業利益	16.7	7.1	11.9	19.0	35.8	+14.4%
(利益率)	(9.7%)	(8.0%)	(12.7%)	(10.4%)	(10.1%)	

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

2015年度 実績 (前年比)	2015年度 実績 (2/4予想差)
<ul style="list-style-type: none"> 売上高：3.5%の増収 営業利益：45億円の増益 	<ul style="list-style-type: none"> 売上高：-48億円 営業利益：-21億円

取り組み
／成果

- MFP事業の収益基盤の拡大・安定化に向けた販路拡大、新製品発売
- MFP、ディスプレイを核としたソリューション提案の強化
- 市場拡大が見込まれるロボティクス事業等、新規事業の強化、拡大

SHARP

15

- ・ 次のスライドは、ビジネスソリューションです。
- ・ 売上高は前年度比3.5%増の3,551億円となりました。
営業利益については、14.4%増の358億円となりました。
依然として安定した収益性を維持しています。
- ・ 複合機やディスプレイを核としたソリューション事業の拡大を進めるとともに、
ロボティクス事業の強化を図っています。
引き続き、既存商品・顧客基盤の活用と積極的な投資拡大による
ソリューション事業のグローバル展開を強化していきます。

電子デバイス

(単位:十億円)

	2015年度					
	上期	3Q	4Q	下期	通期	前年比
売上高	251.2	146.4	92.3	238.7	490.0	+5.0%
営業利益	8.0	1.9	-8.5	-6.5	1.4	2.2倍
(利益率)	(3.2%)	(1.4%)	(-9.2%)	(-2.7%)	(0.3%)	

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

2015年度 実績 (前年比)	2015年度 実績 (2/4予想差)
<ul style="list-style-type: none"> 売上高 : 5.0%の増収 営業利益 : 2.2倍 	<ul style="list-style-type: none"> 売上高 : -399億円 営業利益 : -165億円

取り組み
／成果

- スマートフォン向け、車載向け等のカメラモジュール事業の拡大
- 独自技術を活用した付加価値領域へのシフト、特長デバイスの拡大
- カラー暗視カメラ、埃/PM2.5/環境など新規センサ群

SHARP

16

- ・ 続いて、電子デバイスです。
- ・ 売上高は、前年度比5.0%増の4,900億円となりました。
一方、営業利益については、期末のたな卸評価を保守的に行った上で、14億円の黒字を確保できました。
- ・ 現在、カメラモジュール事業に加え、カラー暗視カメラや各種新規センサによる付加価値領域へのシフトを進めています。
今後とも、カスタマイズ能力とセンシング技術を核としたソリューション事業の拡大に取り組んでまいります。

ディスプレイデバイス

(単位:十億円)

	2015年度					
	上期	3Q	4Q	下期	通期	前年比
売上高	391.2	226.2	154.1	380.3	771.5	-14.9%
営業利益	-26.4	-10.7	-91.9	-102.6	-129.1	-
(利益率)	(-6.8%)	(-4.7%)	(-59.6%)	(-27.0%)	(-16.7%)	

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

2015年度 実績 (前年比)	2015年度 実績 (2/4予想差)
<ul style="list-style-type: none"> 売上高：14.9%の減収 営業利益：1,297億円の減益 	<ul style="list-style-type: none"> 売上高：-984億円 営業利益：-991億円

取り組み
／成果

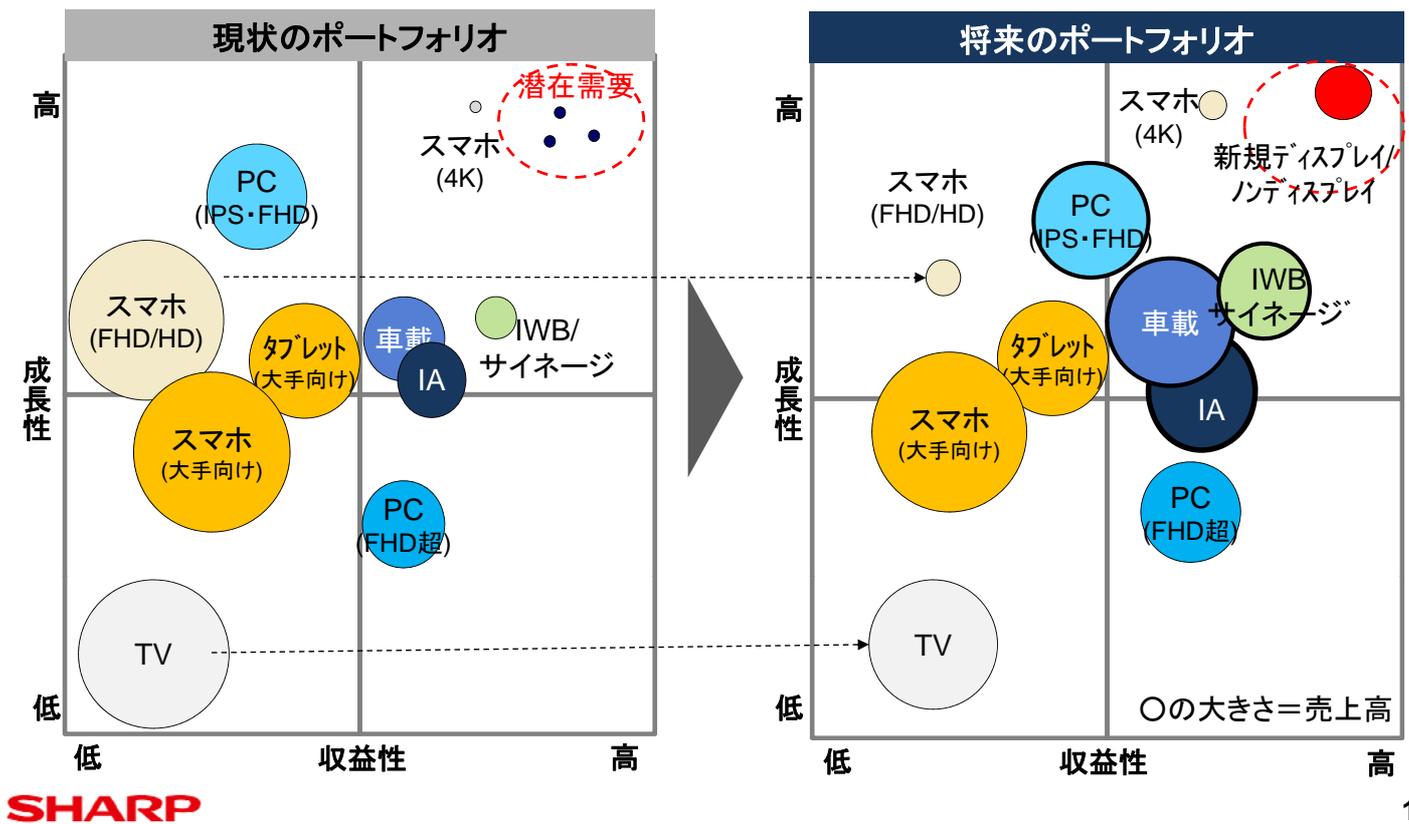
- PC、タブレット、車載など中型液晶領域での事業拡大、収益安定化
- FFD(フリーフォームディスプレイ)を中心とした高付加価値アプリの創出
- IGZO技術、LTPS技術を活用したOLEDディスプレイの技術開発

SHARP

17

- ・ 最後はディスプレイデバイスです。
- ・ 売上高は、中国市場向けスマートフォン用パネルやテレビ用大型液晶パネルの販売減及び価格下落に加え、第4四半期に大手スマートフォン顧客向けの販売が落ち込んだことから、前年度比14.9%減の7,715億円となりました。
- ・ 営業利益は、売上の減少、一部工場における稼働調整の継続に加え、販売市況を考慮して期末のたな卸評価を保守的に行ったことから、1,291億円の赤字となりました。
- ・ 現在、PCやタブレット、車載など中型液晶領域での事業拡大、フリーフォームディスプレイを中心とした高付加価値アプリの創出、IGZO技術・LTPS技術を活用したOLEDディスプレイの技術開発を急速に進めています。
引き続き、独自技術を最大限に活かした高付加価値パネルの拡大に取り組めます。

ディスプレイデバイス



18

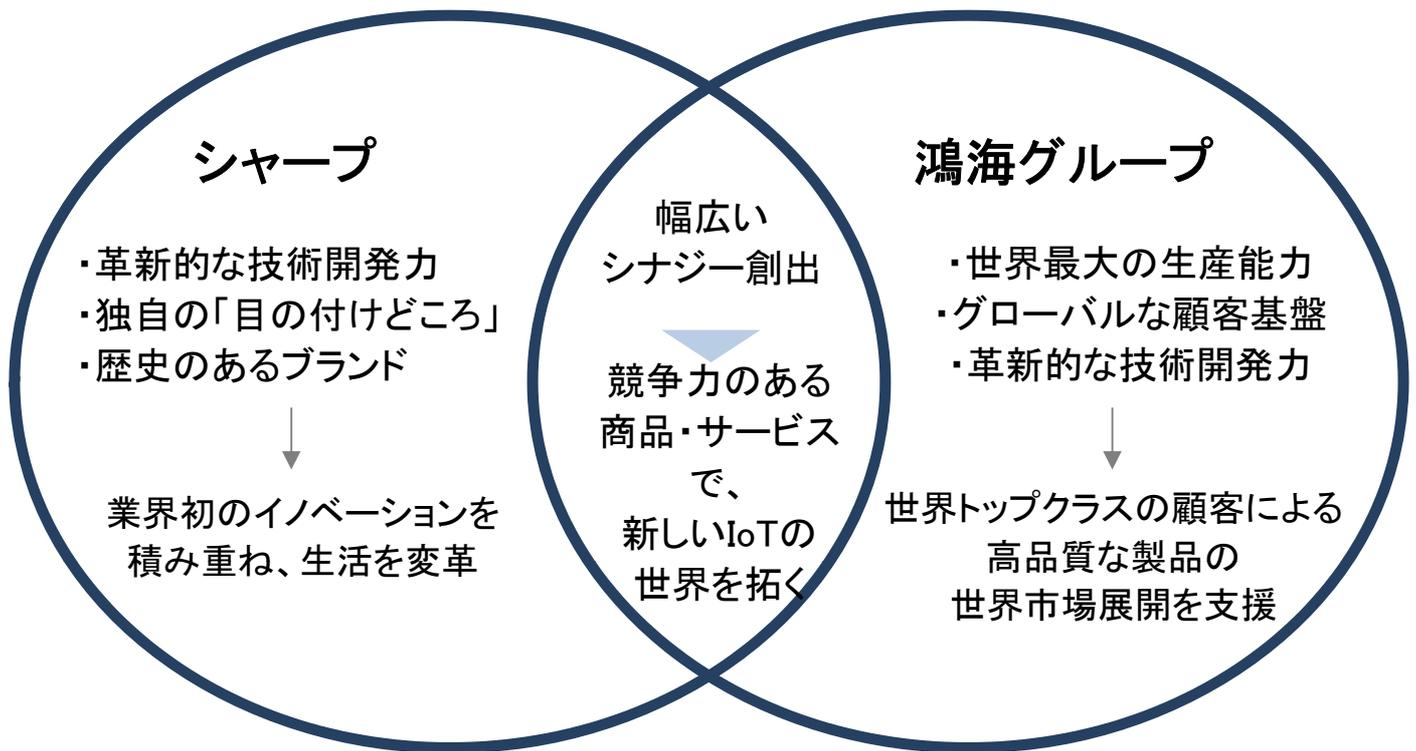
- ・ 次のスライドは、ディスプレイデバイスにおける事業ポートフォリオを示したものです。
- ・ 中型領域の事業拡大による収益構造の変革を図り、収益の安定化を目指します。
- ・ 具体的には、ボラティリティが高いボリュームゾーンスマートフォンやコモディティの液晶テレビの売上構成比を減らし、安定市場の車載・IAなどの中型アプリや、新規事業にシフトしていきます。なお、スマートフォン向けについては、コストダウンを進め、標準モデルを中心とした販売を行います。

Ⅲ. 鴻海精密工業グループとの戦略的提携 について

- ・ 次に、鴻海精密工業グループとの戦略的提携について、説明いたします。

シャープと鴻海の戦略的提携

株主総会における承認取得後、6月末までのクロージングを目指す



SHARP

20

- ・ 次のスライドは、今回の戦略的提携についてまとめたものです。
- ・ 当社と鴻海グループとは、資本提携を含めた戦略的アライアンスを推進していきます。
- ・ 本提携により、両社の強みを融合することで、幅広いシナジーを創出し、競争力のある商品やサービスを生み出して、新しいIoTの世界を拓いていきます。
- ・ 株主総会にてご承認いただいた後、6月末までのクロージング、すなわち出資完了を目指してまいります。
- ・ 私 高橋は鴻海からの出資完了を以って、社長を退任し、出資完了後の社長には戴 正呉氏が就任する予定です。戴社長以下、9名の取締役が新しいシャープの経営を担います。鴻海との戦略的提携を推進し、当社の企業価値向上に邁進してまいります。

提携効果の最大化・早期黒字化に向けた3つの構造改革

1 提携を睨んだ 経営資源の最適化	2 再生を加速する 責任ある事業推進体制	3 成果に報いる 人事制度の確立
【拠点】 <ul style="list-style-type: none">✓ 本社の堺事業所への移転✓ 東京(芝浦)オフィスの幕張ビルへの一部移転✓ 鴻海拠点の活用による海外拠点の集約 【人員】 <ul style="list-style-type: none">✓ グローバル(関係会社含む)での人員適正化	【事業】 <ul style="list-style-type: none">✓ IoT、健康・環境事業の拡大を狙ったCEカンパニーの再編(5→6カンパニーへ)✓ 各ビジネスユニットの収益責任の明確化 【本社】 <ul style="list-style-type: none">✓ 機能・業務のビジネスユニットへの移管等による徹底したスリム化✓ 本社配賦コストの見える化	【基本的処遇】 <ul style="list-style-type: none">✓ クロージング後、早期に給与削減(管理職5%、一般社員2%)を廃止✓ 黒字化の早期実現による賞与の回復 【成果に報いる報酬制度】 <ul style="list-style-type: none">✓ 社員に魅力あるストックオプション制度の導入 【職務に見合った処遇】 <ul style="list-style-type: none">✓ 役割等級制度の一般社員への導入✓ 管理職降格制度導入

SHARP

21

- ・ 本提携による提携効果の最大化および早期黒字化に向け、3つの構造改革を断行してまいります。
- ・ まず1点目に、提携を睨み、経営資源の最適化を行います。拠点については、本社の堺事業所への移転、東京・芝浦オフィスの幕張ビルへの一部移転、鴻海拠点の活用による海外拠点の集約を行います。また、グローバルでの人員適正化も行います。
- ・ 2点目として、再生を加速する責任ある事業推進体制を構築いたします。事業面では、IoTおよび健康・環境事業の拡大を狙い、コンシューマーエレクトロニクスカンパニーを、「AV・通信・クラウド事業」および「健康・環境事業」に再編いたします。併せて、各ビジネスユニットの収益責任を明確化いたします。また、本社については、徹底したスリム化とコストの見える化を図ります。
- ・ 3点目として、成果に報いる人事制度を確立いたします。クロージング後、早期に給与削減を廃止するとともに、黒字化の早期実現による賞与の回復を目指します。また、成果に報いるため、ストックオプション制度を導入いたします。さらに、職務に見合った処遇を実現するため、役割等級制度を一般社員へ導入し、管理職の降格制度も導入いたします。

IV. 補足情報

SHARP

22

- ・最後に補足資料として、「セグメント別売上高・営業利益」「主要商品販売高」等の実績をまとめておりますのでご確認下さい。
 - ・当社は依然、厳しい経営状況にありますが、引き続き様々な構造改革の取り組みを加速させ、経営再建に邁進してまいります。
- ご清聴ありがとうございました。

セグメント別売上高・営業利益

(単位:十億円)

	2015年度 売上高				2015年度 営業利益			
	上期	下期	通期	前年比	上期	下期	通期	前年比
コンシューマー エレクトロニクス	435.5	375.1	810.7	-17.5%	-1.9 (-0.5%)	-19.8 (-5.3%)	-21.8 (-2.7%)	-
エネルギー ソリューション	78.7	78.1	156.8	-42.1%	-2.6 (-3.4%)	-15.7 (-20.2%)	-18.4 (-11.7%)	-
ビジネス ソリューション	172.3	182.8	355.1	+3.5%	16.7 (9.7%)	19.0 (10.4%)	35.8 (10.1%)	+14.4%
電子デバイス	251.2	238.7	490.0	+5.0%	8.0 (3.2%)	-6.5 (-2.7%)	1.4 (0.3%)	2.2倍
ディスプレイ デバイス	391.2	380.3	771.5	-14.9%	-26.4 (-6.8%)	-102.6 (-27.0%)	-129.1 (-16.7%)	-
小計	1,329.0	1,255.2	2,584.3	-13.0%	-6.3 (-0.5%)	-125.7 (-10.0%)	-132.1 (-5.1%)	-
調整額	-49.3	-73.3	-122.7	-	-18.8	-11.0	-29.8	-
合計	1,279.6	1,181.9	2,461.5	-11.7%	-25.1 (-2.0%)	-136.8 (-11.6%)	-161.9 (-6.6%)	-

SHARP

※()内の数字は営業利益率です。

23

四半期 セグメント別売上高・営業利益

(単位:十億円)

	2015年度 売上高				2015年度 営業利益			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
コンシューマー エレクトロニクス	201.9	233.6	204.2	170.8	-11.7 (-5.8%)	9.7 (4.2%)	7.5 (3.7%)	-27.4 (-16.0%)
エネルギー ソリューション	36.8	41.8	34.5	43.5	-3.9 (-10.7%)	1.3 (3.2%)	-5.0 (-14.7%)	-10.7 (-24.6%)
ビジネス ソリューション	80.6	91.7	88.8	93.9	6.8 (8.4%)	9.9 (10.8%)	7.1 (8.0%)	11.9 (12.7%)
電子デバイス	136.6	114.6	146.4	92.3	2.8 (2.1%)	5.1 (4.5%)	1.9 (1.4%)	-8.5 (-9.2%)
ディスプレイ デバイス	187.8	203.3	226.2	154.1	-13.7 (-7.3%)	-12.7 (-6.3%)	-10.7 (-4.7%)	-91.9 (-59.6%)
小計	643.9	685.1	700.3	554.9	-19.7 (-3.1%)	13.3 (2.0%)	0.8 (0.1%)	-126.6 (-22.8%)
調整額	-25.6	-23.7	-36.9	-36.3	-9.0	-9.7	-4.7	-6.2
合計	618.3	661.3	663.3	518.5	-28.7 (-4.7%)	3.5 (0.5%)	-3.8 (-0.6%)	-132.9 (-25.6%)

SHARP

※()内の数字は営業利益率です。

24

主要商品販売高

(単位:十億円)

	2014年度			2015年度			
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	前年比
液晶テレビ	189.1	180.8	370.0	154.6	129.5	284.2	-23.2%
台数(百万台)	3.60	3.43	7.03	2.99	2.83	5.82	-17.1%
携帯電話	85.9	107.6	193.6	83.5	62.8	146.3	-24.4%
台数(百万台)	2.41	3.15	5.56	2.26	1.44	3.71	-33.3%
冷蔵庫	47.9	45.6	93.5	48.2	42.5	90.8	-2.9%
エアコン	42.1	21.3	63.5	36.0	21.6	57.6	-9.2%
複写機・複合機	73.4	78.5	152.0	78.2	58.8	137.0	-9.9%
カメラモジュール	73.1	157.8	230.9	123.3	118.7	242.1	+4.8%

SHARP

25

四半期 主要商品販売高

(単位:十億円)

	2014年度				2015年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
液晶テレビ	85.7	103.3	104.3	76.5	64.1	90.5	81.8	47.7
台数(百万台)	1.73	1.86	1.74	1.68	1.41	1.58	1.72	1.10
携帯電話	49.6	36.2	64.1	43.5	44.1	39.4	27.4	35.3
台数(百万台)	1.23	1.17	1.79	1.35	1.01	1.25	0.54	0.89
冷蔵庫	23.9	24.0	22.1	23.4	23.0	25.1	21.1	21.4
エアコン	23.6	18.4	8.0	13.3	20.6	15.3	8.2	13.4
複写機・複合機	34.3	39.1	38.2	40.3	37.2	40.9	25.0	33.7
カメラモジュール	27.3	45.7	88.7	69.0	76.0	47.2	75.1	43.6

SHARP

26

設備投資・減価償却費等

(単位:十億円)

	2014年度			2015年度			
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	前年比
設備投資	31.2	31.3	62.6	20.9	24.3	45.2	-27.8%
内:液晶	12.9	19.0	31.9	8.9	13.9	22.8	-28.5%
減価償却費	49.9	52.6	102.6	33.7	34.2	68.0	-33.7%
研究開発費	65.8	75.1	141.0	68.6	61.4	130.1	-7.7%

(単位:円)

為替レート	2014年度			2015年度		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
米ドル	102.05	115.83	108.94	120.80	117.50	119.15
ユーロ	137.41	137.14	137.28	133.57	128.59	131.08

SHARP

27

四半期 設備投資・減価償却費等

(単位:十億円)

	2014年度				2015年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
設備投資	14.5	16.6	9.3	22.0	9.7	11.1	8.2	16.0
内:液晶	5.7	7.1	4.3	14.7	3.8	5.1	4.9	8.9
減価償却費	24.4	25.5	26.5	26.0	18.0	15.7	17.0	17.2
研究開発費	34.4	31.4	38.1	37.0	36.3	32.3	33.5	27.9

(単位:円)

為替レート	2014年度				2015年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
米ドル	101.16	102.93	113.55	118.10	120.37	121.24	120.51	114.49
ユーロ	138.56	136.26	141.59	132.68	132.66	134.48	131.46	125.71

SHARP

28

地域別 海外売上高

上段:売上高 (十億円)
下段:構成比 (%)

	2014年度			2015年度			
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	前年比
米州	165.6 19.9%	155.2 15.8%	320.9 17.7%	160.0 18.0%	120.9 14.8%	281.0 16.4%	-12.4%
欧州	71.4 8.6%	71.0 7.2%	142.5 7.8%	69.9 7.8%	66.6 8.1%	136.5 8.0%	-4.2%
中国	487.8 58.6%	653.0 66.3%	1,140.8 62.8%	554.3 62.2%	530.9 64.7%	1,085.3 63.4%	-4.9%
その他	107.7 12.9%	105.6 10.7%	213.4 11.7%	106.4 12.0%	101.7 12.4%	208.1 12.2%	-2.5%
合計	832.7 100.0%	985.1 100.0%	1,817.8 100.0%	890.7 100.0%	820.3 100.0%	1,711.0 100.0%	-5.9%

SHARP

29

SHARP